

議事要旨

(灘区HAT神戸地域の小学校新設に伴う小中学校校区の校区調整)

質問	説明
<p>●通学路の安全対策として、どのようなことを考えているのか。</p>	<p>●校区変更後の通学路は、歩道橋や遊歩道が安全と考えている。歩道橋については、「暗い」「ゆれる」「道幅が狭い」等の意見が出ているが、関係機関と連携を取り、できるだけ改善していきたい。 また、ハード面での改善に加え、見守り活動などのソフト面も検討していきたい。</p>
<p>●J R 摩耶駅周辺の新しいマンションの住人には、校区調整について周知できているのか。</p>	<p>●J R 摩耶駅周辺の校区変更対象区域には、既に1棟マンションが建設されている。ディベロッパーには「校区変更の可能性がある」ことを入居者に伝えるように依頼している。 今後建設されるマンションについては、校区変更が当審議会を経て決定となれば、「校区変更になる」ことを入居者に確実に伝えるようディベロッパーに依頼したい。</p>
<p>●「この学校に通いたくて引っ越してきたのに」等という住民の意見にはどう対応していくか。</p>	<p>●校区変更がやむをえない状況であることを十分に説明し、ご協力いただけるよう丁寧な対応に努める。</p>
意見	
<p>●校区調整対象地域は、市街地のなかに小学校が設置されていることから、校地の拡大は困難と考えられる。このような状況で区画整理事業により確保した用地を活用して新設校を設置し、校区調整を行うことは良い取り組みで、校区変更はやむをえない。 ●校区の変更は住民の生活に深く関わることなので、地域の方にしっかりと状況を説明することが大切である。</p>	

議事要旨

(北区有野台小学校・有野東小学校の統合に伴う小学校校区の変更)

質問	説明
●現在最も遠いと思われる、有野台小学校校区の東有野台5丁目あたりから現・有野東小学校までの通学距離はどのくらいか。また勾配はどの程度か。	●おおむね1.7kmで、児童でも20分程度の道のり。移転後の現・有野東小学校の方が、現・有野台小学校よりも近くなる。全く平坦な道というわけではないが、急な勾配はない。 ●通学路の安全確保に関しては、地域・保護者の代表などで構成する統合推進委員会で検討している。
意見	

議事要旨

(須磨区だいち小学校の過密化対策に伴う小中学校校区の校区調整)

質問	説明
●板宿小学校の受け入れ人数はどの程度か。	●3～4クラスが上限と考えている。板宿小学校を希望選択した児童には、飛松中学校へ進学してほしいと考えており、太田中学校に近い地域の児童は板宿小学校を希望選択しないことが予想される。このため、抽選となるような希望数にはならないと考えている。
●こどもたちの反応はどうか、高学年の児童ならば、ある程度意見があると思う。	●児童の意見を直接聴取する機会はないが、保護者と児童では学校選択の際に重視するポイントが異なることもあるため、家庭内でよく話し合っていたいただきたいと考えている。
意見	
●現地視察にて、暫定校舎の状況を見たが、運動場にある暫定校舎は早期に解消し、のびのび運動ができるようにするべきである。	